

理想の姿

| | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------------|--|--|-----------------------|-------------------------------|---------------------|---------------------|------------------------|
| 参加しやすさ | 小さなサークルがたくさんある | 参加したいものがある | 選択肢の広さ | 誰もが参加しやすい場がある | 出入り自由 | 社会教育への入り口が多くハードルが低い | 地域活動に参加したいと思える | イベントがたくさんある、仲間がすぐできちゃう |
| 活動の状態 | 楽しく活動している | 主体的に活動している | みんなが自主的・能動的に係わっている | 大人もいきいき、子どももマネしたくなる大人 | | | | |
| 多様性と相互尊重 | 異年齢が交流している | お互いのちがいを認め合う | お互いの特技を生かす | フラットな関係、平等第一 | 地域の人の顔がわかる | フレネミー撲滅！ | 地域の人達が挨拶してくれれば嬉しい | 寄り添う(無理のない距離感) |
| | つながりやすい | 教える・教えられる関係でなく、ともに学び合う | 多世代、多様な人が有機的に交わっている | 他の人を気に掛ける姿(日々の生活の中で) | ボランティア活動を積極的に行う(高校生～高齢者) | 地域に入っていく姿勢(新しい住民) | 地域をこえた交流→交流サイト、研修旅行 | 在住外国人も暮らしやすく |
| | ひとりでも楽しい町 | 誰一人取り残さない | オーセンティックなものがたくさん、多様性大切 | | | | | |
| 地域愛 | 地域愛にあふれている | 地域の良さを共有する | 全市民が富士見市が好き(地元) | 地域の問題点に気付く | みんなで問題点を解決する | 市内の歴史をさらに掘りおこす | 世代間つながりで伝承の実現 | |
| 広報・情報発信等 | 容易に知ることができる | 市の考え、取り組みが分かりやすく発信されている | 資料館等からの更なる情報発信 | 活動の見える化→学びの共有→参加者の声 | 各町会(富士見市全町会)の活動発表会がある | とよい | 宣伝方法(誰でもわかる) | |
| 活動しやすさ | 運営ノウハウ | リソースを分かち合いやすい | 場所 | 企てやすい | 交流センターがもっとあるとよい(多くの人が集まれる場) | 活動場所の確保 | 取り組みが持続可能である | |
| 個人の学習に留めない | 活動成果が市の価値になる | 自己満足に終わらない | 他者・地域に還元できる | みんなが地域のために何かをしている | 学んだことを次の世代につなぐ、出前授業、地域で共に | 高齢者の持てるものをさらに活用する | | |
| 社会教育施設の活用 | 資料館等の更なる活用 | 公民館が人と人をつなげている | 資料館等での情報技術の更なる活用 | | | | | |
| 子ども中心 | 資料館等と学校との更なる連携 | 学校が楽しい、生徒と先生が対等 | 子ども同士(異年齢の)のつながりがある、そういう場がある | 親子で体験・参加できることが多いといい | 子ども～高齢者までの交流の場があるとよい(行事等を含める) | | | |
| アプローチのあり方 | 自然とふれあえる | ありがとうを言える環境づくり(ICTデバイスの普及にともない対面の価値が希薄化) | 人権について多面的・多角的に考える(AIに人権意識をもつ子ども)(多様性を理解できているか) | おせっかいな人をたくさん(いい意味で) | 共事者意識が高い、当事者を支える | 中心となる人の資質 | | |
| 社会問題を解決するための活動 | 防災の観点から、まずは自助！自分のことを守る意識を持つ | 災害時等を考え中学生と町会との交流会をもつ(中学生の助けが必要と考える) | 子どもの貧困への対応(子ども食堂に留まらず社会の仕組(親、企業)へのはたらきかけ) | | | | | |
| その他 | 行政と民間、民間と各団体の連携がとれている | 日常の底上げ(晴れの日だけではなく、日常を少しUPすることで楽しくなる感じ) | | | | | | |